

研究のために、あなたのカルテの情報を使用させて頂いております

◎対象となる患者さん：総合診療内科または連携医療緩和ケア科に入院し、主治医により嚥下機能評価が必要と判断されて言語聴覚士(ST)の介入があった65歳以上の方

1. 研究の題名『総合診療内科に入院した高齢患者における嚥下時呼吸困難感の実態解明とトリプル・サルコペニアとの関係性』

<研究期間> 倫理委員会承認日 ~ 2032年3月31日

2. 利用目的 及び 利用方法

<利用目的> 総合診療内科および連携医療緩和ケア科に入院された高齢患者さんの食事・嚥下時の呼吸困難感(息苦しさ)が、リハビリの進み具合や退院にどのような影響を与えるかを明らかにし、さらに全身・呼吸・嚥下に関わる3つの筋肉の減少(トリプル・サルコペニア)との関係性を調べることで、今後のより良いリハビリテーションや新たな治療法の開発に役立てるため。

<利用方法> 利用 ・ 提供

3. 以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

<対象期間> 2026年4月1日 ~ 2031年3月31日

4. 本研究で利用する試料・情報について

■本研究で利用する情報の詳細

- ・患者背景(年齢、性別、疾患名、診療科、身長、体重、BMI、義歯状況、持病の状況、入院前の移動能力・食事状況、肺炎の重症度など)
- ・検査所見(呼吸困難感の程度、嚥下に関する各種評価点数・検査結果、血中酸素の低下、歩行速度、握力、吸う力の強さ、舌の力、エコーで測定した首の筋肉量、嚥下造影・内視鏡検査の結果など)
- ・治療・介入等(入院日数、リハビリ合計単位数、退院時の状況、食事形態の改善幅など)

5. 利用する者の範囲

取得した情報は、飯塚病院の下記研究代表者 及び 研究分担者において使用します。

奥野 将太 (研究代表者)

6. 情報の管理の責任者について

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様に責任を持ちます。

<診療科名または部署名> リハビリテーション部

<研究代表者名> 奥野 将太

7. 試料・情報の利用 及び 他の研究機関への提供の停止を希望する患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にああなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記の連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、患者さんやご家族が不利益を被ることは一切ございませんので、どうぞご安心ください。また、この研究に関する計画書を、研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

<連絡先> 株式会社麻生 飯塚病院 0948-22-3800 (代表)

<担当者> 奥野将太